

BMSL 10-L65

24.10

まえがき

このたびはビシャモンのハンドパレットトラックをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分に納得された上でご使用ください。なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失した場合は速やかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼り付けてある警告シール等が剥がれた場合も販売会社にご請求ください。

<ご注意>

<使用環境について>




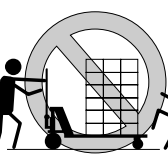
この取扱説明書では、お守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある注意事項は「警告」という見出しの下に掲げてあります。また、お守りいただかないと傷害を負う可能性および物的な損害の発生が想定される注意事項は「注意」という見出しの下に掲げてあります。

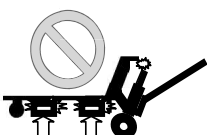

使用場所・・・屋内
 周囲温度・・・0～40℃ 結露や凍結のないこと
 湿度・・・35～85%
 雰囲気・・・可燃性ガス・腐食性ガス・蒸気・
 粉塵のないこと

目次

1 使用上の注意・・・1	5 ロール受けの脱着方法・・・5	9 廃棄・・・・・・・・・・10
2 各部の名称・・・・・・2	6 本体仕様諸元・・・・・・6	10 商品保証規定・・・・・・10
3 始業点検・・・・・・3	7 故障と対策・・・・・・8	11 アフターサービスについて・・・11
4 操作方法・・・・・・4	8 メンテナンス・・・・・・9	12 梱包リスト・・・・・・11

1 使用上の注意

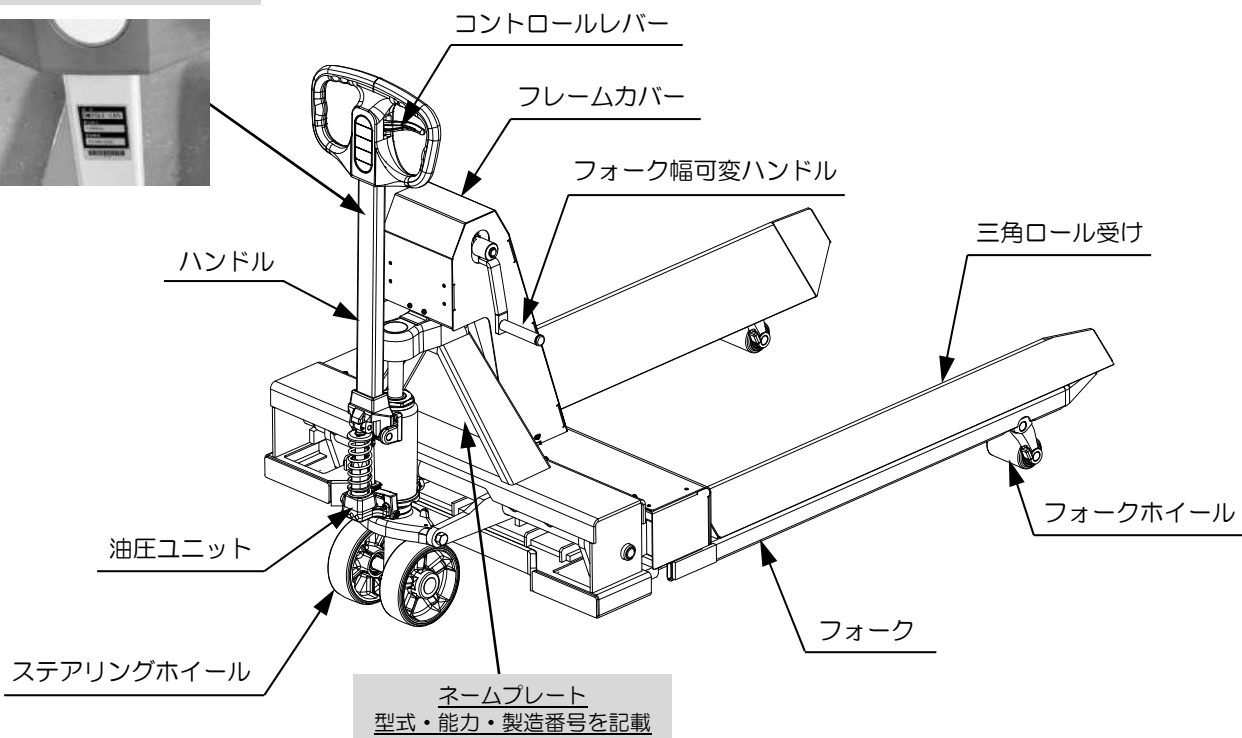
警告	
下記の事項に違反すると重大な人身事故につながりますので必ず守ってください。	
	
フォークの下に手足を入れないでください。挟まれて怪我をします。	傾斜地では使用しないでください。転倒や暴走につながります。
	
走行中、ホイールから足を離してください。ひかれて怪我をすることがあります。	人を乗せないでください。人の転落につながります。
	
移動する時には前後に人がいないことを確認してください。	段差のある場所では注意して移動してください。転落や転倒の危険があります。

注意	
<ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。 最大能力を超える荷重で使用しないでください。 フォークを急降下、急停止させないでください。荷物がバランスを崩したり、本機が破損します。 片側のフォークや先端など偏った荷重をかけないでください。 改造をしないでください。 取扱説明書に従い必ず点検してください。 耐水仕様になっておりませんので、乾燥した場所で使用してください。 荷物を載せた状態で段差のある床を通らないでください。 周囲の温度が0℃以上 40℃以下の場所で使用してください。 フォーク幅可変操作はフォーク高さを下限位置にして行ってください。 荷物を載せた状態で、フォーク幅可変操作を行わないでください。本体および各部品が破損することがあります。 	
	
12. フォーク等で強い衝撃を与えないこと。本体および各部品が破損することがあります。	13. フォークのみで荷物を上げないこと。本体および各部品が破損することがあります。
<p>※上記のことをお守りいただかないと、トーションチューブおよびブッシュロッドの曲がり、またはサビの発生、パッキン類の劣化により本体および各部品が破損することがありますので十分注意してください。（クレームの期間内であってもクレームの対象とはなりません）</p>	

2

各部の名称

機能シール
型式・能力・製造番号を記載



3

始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に必ず下記の事項を点検してください。

⚠ 注意

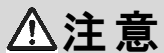
異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。そのままお使いになるとリフトの破損および事故につながるおそれがあります。

毎日作業前に実施してください。

- (1) 外観上、破損、曲がり、傷はないか。
- (2) 油圧ユニットから油漏れはないか。
- (3) 上昇後、フォークが自然に降下しないか。
- (4) 各車輪はスムーズに回転するか。
- (5) フォーク最下降位置にて、フォーク幅可変操作がスムーズに行えるか。

4 操作方法

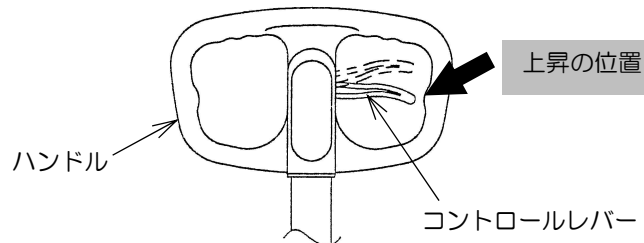
4-1 上昇



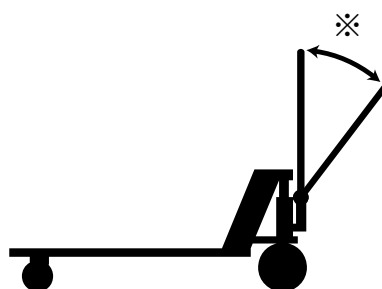
注意

最大能力は 1,000kg です。最大能力を超える荷重で使用しないでください。

- ① コントロールレバーが上昇の位置にあることを確認してください。



- ② ハンドルを上下（※）に動かせばフォークが上昇します。任意の高さまで数回操作してください。



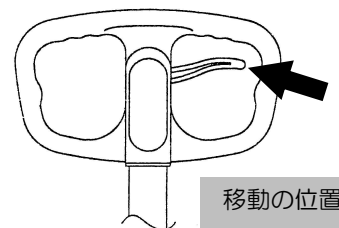
4-2 移動



警告

傾斜地で使用しないこと。動きを止められなくなります。

- ① コントロールレバーをカチッと音がするまで少し持ち上げるとハンドリングが楽になります。
- ② ハンドルを持ち移動させます。



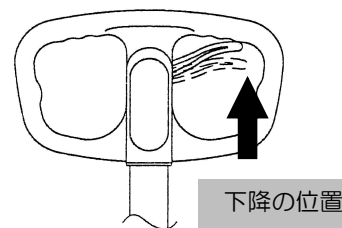
4-3 下降



注意

荷物やフォークの下に足などを入れないこと。挟まれてケガをします。

- ① コントロールレバーを慎重に引き上げるとフォークが下降します。安全な速さで下降させてください。



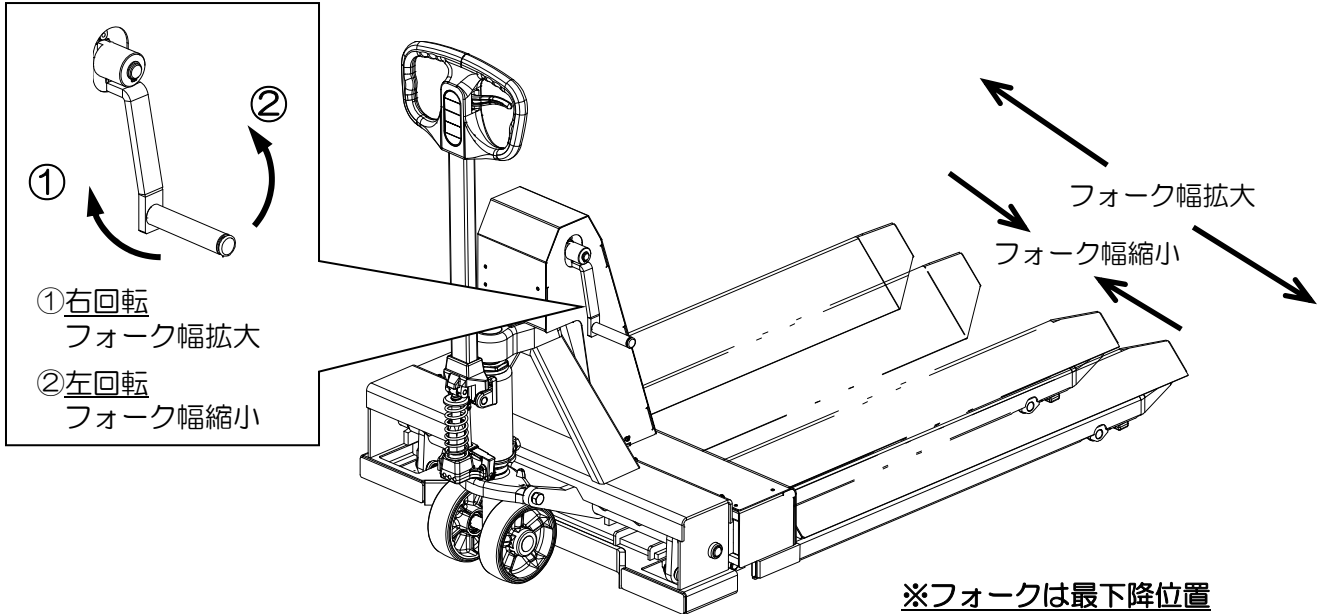
解説

フォークは油圧シリンダーで保持しています。
油圧機器の性質上フォークは極めて微小ながら下降していきます。
フォークが上昇した状態を長時間保持することはできませんので、ご承知ください。

4-4 フォーク幅可変操作

⚠ 注意

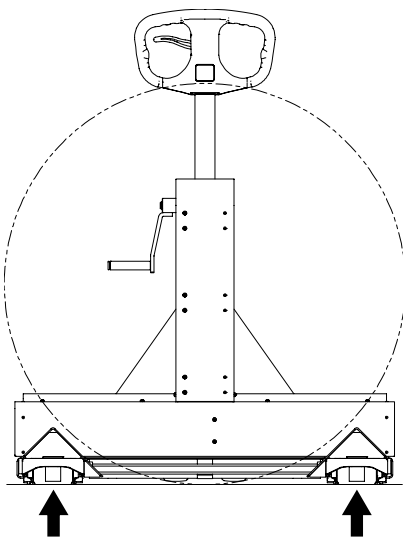
フォーク高さを最下降位置にして行ってください。最下降位置以外ではハンドル操作が重くなります。また、荷物を載せた状態でフォーク幅可変操作を行わないでください。本体および各部品が破損することがあります。



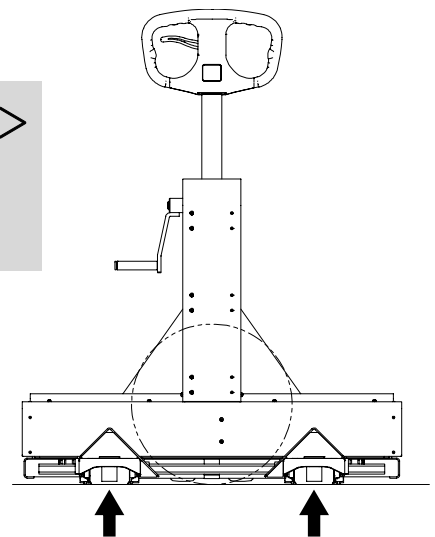
4-5 ロールワーク運搬手順

- ① フォークの高さが最下降位置であることを確認します。
- ② ロックワークに干渉しないようにフォーク幅を広げ、フォークをロールワークに差し込んでください。
- ③ 三角ロール受けがロックワークに接触するまでフォークを縮めます。
- ④ フォークを上昇させ、ロールワークが床面から離れた状態で運搬してください。
- ⑤ 任意の場所まで運搬したらフォークを下降させてロックワークを接地させ、フォーク高さを最下降位置にします。
- ⑥ ロールワークに干渉しないようにフォーク幅を広げ、フォークをロールワークから引き抜いてください。

ワークのロール径が大きい場合



ワークのロール径が小さい場合



<対応ロール径・長さ>

径：φ200～φ1000

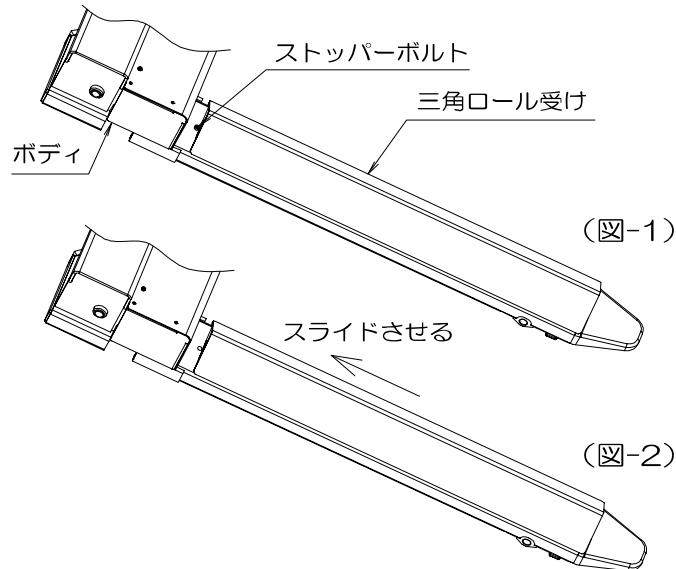
長さ：1000mm 以下

5

三角ロール受けの脱着方法

5-1 取り外し

- ① フォーク上面に付いているストッパーボルトを取り外します。(図-1)
- ② 三角ロール受けをボディ側にスライドさせてから持ち上げると、三角ロール受けの取り外しができます。(図-2)

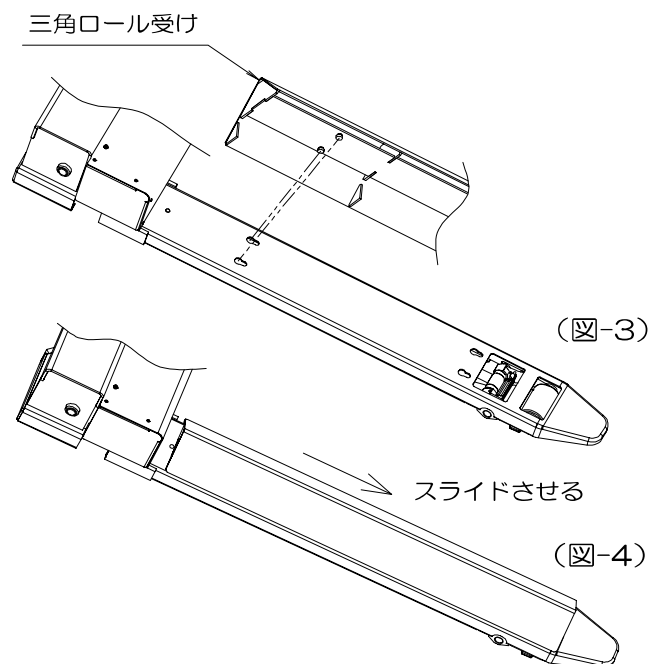


注意

ストッパーボルトは紛失しないように保管しておいてください。

5-1 取り付け

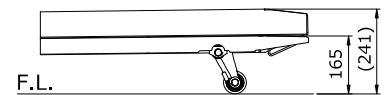
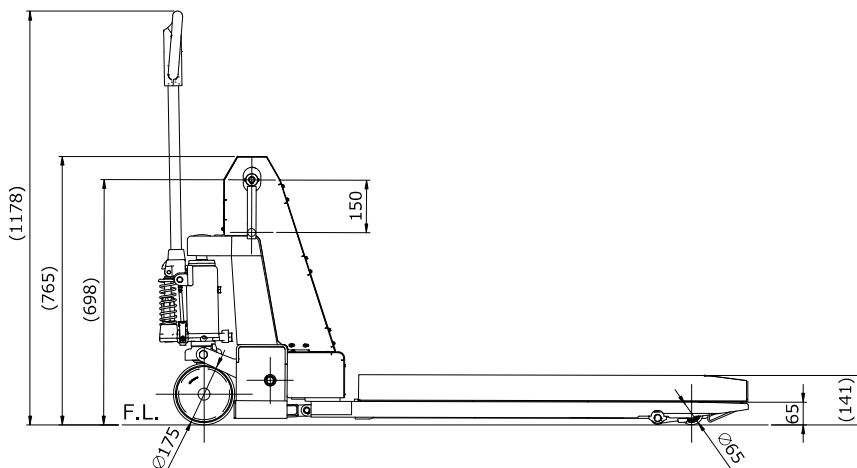
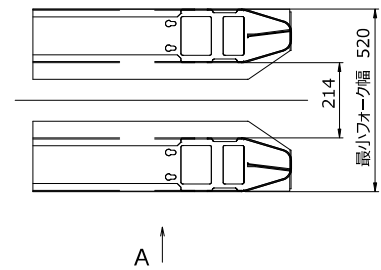
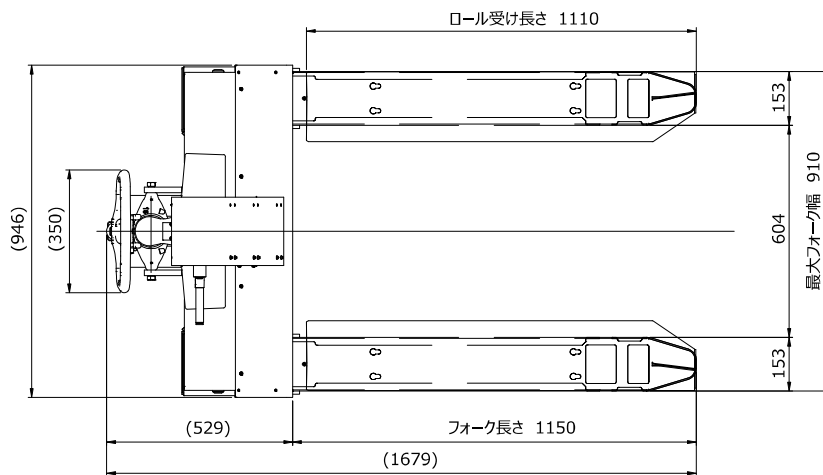
- ① フォーク上面の穴に三角ロール受けの突起を挿入し、フォーク先端側にスライドさせます。(図-3、図-4)
- ② ストッパーボルトを取り付けて三角ロール受けが外れないようにします。



6

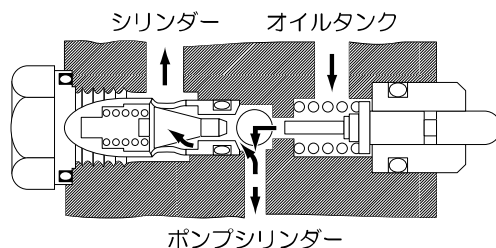
本体仕様諸元

仕 様	
型 式	BMSL10-L65
能 力	1000kg
揚 程	100mm (フォーク先端)
最低フォーク高さ	65mm
最高フォーク高さ	165mm
最大フォーク幅	910mm
最小フォーク幅	520mm
車輪径	Fφ65mm×Rφ175mm
操作方式	手動ハンドル
下降方式	手動式レバー
フォーク幅可変方法	手動回転ハンドル (MIN~MAX約28回)
ポンプ回数	12回以内 (1000kg負荷時)
作動油	ISO VG32 油圧作動油
総油量	約0.36L (給油量)
自重	約200kg
対応ロール材寸法	φ200~φ1000mm 長さ1000mm以下



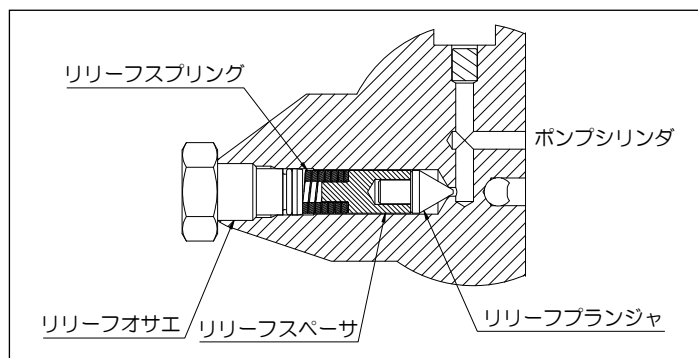
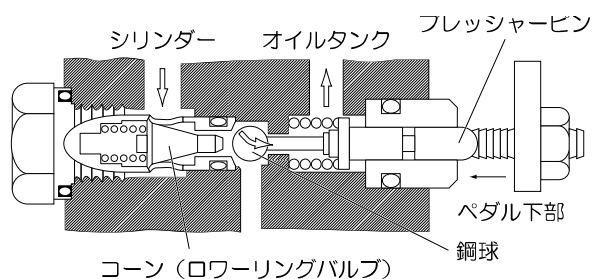
●上昇回路

ハンドルのポンピング操作により、作動油はオイルタンクからシリンダーへ送られ上昇します。その際、作動油はコーンにより止められ、逆流しないしくみになっています。



●下降回路

下降レバーの操作でコーンが押され、作動油がシリンダーからオイルタンクに戻されて下降します。



7

故障と対策

故障状況	故障原因	対策方法
上昇しない	作動油不足	作動油の補充をしてください
	プレッシャーピン⑤の固着	プレッシャーピンのオーバーホールまたは交換
	バルブスプリング③の破損	バルブスプリングの交換
	鋼球⑥のシート不良	異物を取り除く シリンダベースが傷ついている場合
ポンプ回数	Uパッキン⑦の消耗	Uパッキン交換
軽負荷だと上昇するが 重負荷だと上昇しない	鋼球のシート面が荒れている	シート面のポンチング
	鋼球にキズがある	鋼球の交換
ポンピングする上昇するが ハンドルを戻すと 下降してしまう	コーン④とコーンシート③の間に 異物が挟まっている	異物を取り除く
	バルブスプリング③の破損	バルブスプリングの交換
自然降下する	エアーの混入（エアー抜き作業）	一番上まで上昇させて5回程度ポンピングする
	Uパッキン⑨の消耗	Uパッキンの交換
	コーン④とコーンシート③のシール不良	シート面のポンチングまたは交換
	コーンシート③のOリング⑩のシール不良	Oリングの交換
下降しない	プレッシャーピン⑪の固着	プレッシャーピンのオーバーホールまたは交換
	ロウリングレバー部⑫の調整不良	調整⑬⑭
フォーク幅可変操作時の異音	軸・チェーンのグリス不足	フレームカバーを外してグリスアップする

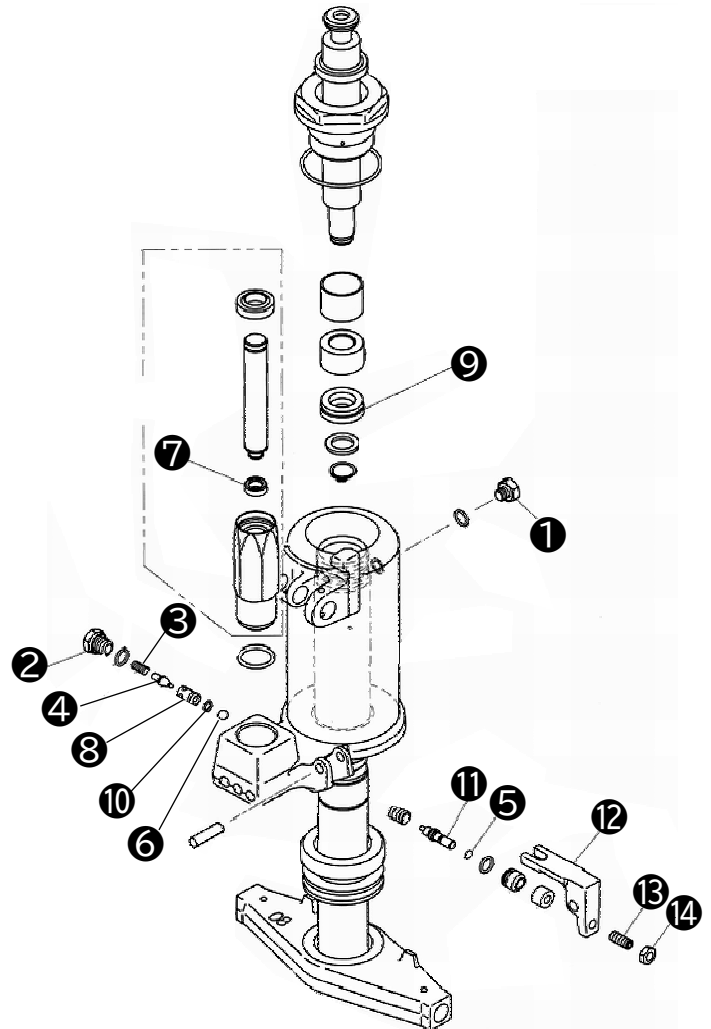
※表内の各番号はP9「8 メンテナンス」の図を参照してください。

■作動油について

作動油に異物が混入したり、長期使用してオイルの色が真っ黒になった場合に作動油の交換が必要になります。交換方法や、作動油の種類は下記を参考にしてください。

■油圧作動油の交換

1. ハンドパレットトラックを平坦な場所に移動させます。
2. ハンドパレットトラックを最低位まで下降させます。
3. ポンプユニット側面の給油プラグ①をスパナ(17mm)で外します。
4. バックバルブスクリュー②の下にオイル受皿を置きます。
5. バックバルブスクリュー②をスパナ(17mm)で外します。
6. 本体ハンドルを1回ポンピングします。
7. 作動油とともにバルブスプリング③とコーン④が出てきます。出てこない場合は、ラジオペンチ等を使用して取り出します。
8. オイルが少しずつ出てきます。少し時間がかかりますが、オイル受皿で受けて、作動油が止まるのを待ちます。
9. コーン④の先の尖った方から入れます。
10. バルブスプリング③を入れ、バックバルブスクリュー②を締めます。
11. 下記作動油を約 0.36L 入れて、給油プラグ①を締めます。(上限まで上がらない場合は、作動油を追加してください)
12. 一番上まで上昇させて数回ポンピングすると、内部のエアーが抜けます。



■各軸受部の注油

基本的に各軸部には無給油ブッシュを使用していますので、注油の必要はありません。ただし、湿気が高い現場や埃の多い現場で使用される場合は、ブッシュの消耗を早めてしまいますので、錆防止、ゴミの侵入防止のためグリス注入をお願いします。また、ブッシュは消耗品ですので定期的にご確認ください。ブッシュが無いまま使用されると、重大な故障の原因となります。



注意 修理には非常に熟練を要する作業が求められる場合がありますので、修理の際は販売店にご連絡ください。

安全に使用していただくために、必ず定期的にメンテナンスを実施してください。

1. 各軸受部に注油 (6ヶ月毎)
2. 油圧作動油の交換 (12ヶ月毎)

●油圧作動油の種類 粘度区分 ISO VG32 耐摩耗性油圧作動油 (使用量: 0.36L)

9

廃棄

本製品の廃棄については、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油に分別してください。
作動油の処理方法については法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。
ご不明な場合は販売会社へ相談の上、処理してください。

10

商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

このリフトは屋外設置及び耐水仕様になっておりませんので、錆・腐食・漏電等の水による故障は保証致しておりません。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。
販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

11 アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時には	商品規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間について	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）	

上記事項を下表に記録しておく、お問い合わせの際に便利です。

型 式			
機 体 番 号	NO.		
購 入 年 月 日	年	月	日
購 入 会 社 名	社 名 :	担 当 者 :	
	住 所 :	電 話 :	
故 障 日 ・ 状 況	年	月	日 状 況 :

12 梱包リスト

下記表が梱包リストとなります。
注文品に相違がありましたら、お手数ですが販売店までお問い合わせください。

内容物	数量	有無
本体	1	
取扱説明書	1	
三角ロール受け	2	※本体に取付け出荷
ストッパーボルト	2	※本体に取付け出荷



会社ホームページはこちら
<https://bishamon.co.jp/>



本社 〒444-1394 愛知県高浜市本郷町4-3-21 TEL.0566-53-1126 FAX.0566-53-1844

東京 〒146-0083 東京都大田区千鳥2-2-12 TEL.03-3759-9722 FAX.03-3759-9723

大阪 〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南2-3-22 TEL.06-6747-7617 FAX.06-6747-7618

【その他営業所】 ホームページをご確認ください。

●ご注文・納期・価格のお問合せ先

本社営業部

✉ sales@bishamon.co.jp

☎ 0566-53-1126

📠 0566-53-1844

●技術的なお問合せ先

カスタマーサポート

✉ support@bishamon.co.jp

☎ 0566-53-2281

📠 0566-53-1617